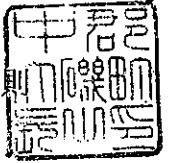




磯 都 第 // 号
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 殿

大磯町長 三好 正



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について

暮春の候、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また日頃より本町の道路事業に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
平成19年4月2日付国道企第114号にて依頼のありました標記の件について、下記の通り回答いたしますので、よろしくお取り計らい下さい。

記

本町における広域的道路網は、国道5路線と県道4路線で構成されておりますが、終日の交通状況の観点から、重点化を進める上で次の3点を優先度の高い政策と考えております。

1) 新湘南国道は、国道1号の藤沢バイパスと西湘バイパスを結ぶ自動車専用道路がありますが、国道134号線と重複している茅ヶ崎海岸IC～大磯区間が未完成のため、国道1号と国道134号線の茅ヶ崎～大磯間は、依然として朝夕の通勤時間帯や行楽シーズンを中心に、交通渋滞が慢性化しています。

このため、茅ヶ崎海岸IC～平塚・大磯間の事業促進を図られるとともに、整備可能な箇所より早期着手していただきますよう強く要望いたします。

2) 藤沢大磯線（湘南新道）の整備は、国道1号及び国道134号等の交通需要の増大に伴う渋滞解消と県内のネットワークの強化を目指し、県において事業が進められており、道路交通の円滑化の確保や物流機能の強化等、住民生活の利便性の向上を図るとともに、広域幹線道路への接続等、幹線道路ネットワークの構築を図る上で、必要不可欠の道路となるため、早期の促進を要望いたします。

3) 県道63号（相模原大磯線）については、国道1号と相模原方面を結び本町西部地区の南北方面の骨格となる路線であるとともに、国道271号（小田原厚木道路）と連結しており、朝夕の時間帯をはじめ交通量の多い路線であるにも拘わらず、歩道に安全施設の整備がされていない箇所や歩道未設置区間もあるため、歩道及び交通安全施設の早期整備を図っていただきたく要望いたします。

また、国道271号大磯インター入口である県道63号線の交差点改良（朝夕の時間帯において慢性的な交通渋滞を来たしており、交通渋滞解消に向けた交差点改良）について強く要望いたします。

（事務担当は、都市整備部 都市整備課 建設整備班）